厳冬の剱岳

第4回　日本山岳会富山支部 山岳講演会

立山の雪、ヒマラヤの雪
―雪の壁から氷河まで―

入場無料

立山・剱岳の特色は豊富な雪であるが、最近、活動している氷河が存在していることがわかってきた。さまざまな雪の姿や変化を調査結果から紹介する。また、これまでに訪れたヒマラヤの氷河の様子と近年の変動についても語る。

平成24年 2月17日（金）18:30 ～20:00

富山県民会館701号室

講師　飯田　肇

（日本山岳会富山支部、立山カルデラ砂防博物館）

1955年茨城県生まれ。名古屋大学大学院修了。立山カルデラ砂防博物館学芸課長。専門は雪氷学。立山の積雪分布と変動、雪の壁の構造、万年雪・氷河等の調査研究を継続する。1982年以来、ヒマラヤ氷河学術調査隊（名古屋大学）、日本山岳会カンチェンジュンガ登山隊、日本・中国合同ナムチャバルワ登山隊（日本山岳会）等に参加し氷河気象調査を行う。これらの成果をもとに立山の自然の特色を活かした博物館活動を続けている。

主催/日本山岳会富山支部

協賛/富山県山岳連盟

後援/北日本新聞社

問合せ先/日本山岳会富山支部事務局　金尾誠一
TEL 076-438-2716